

荻窪病院だより

緑のユニフォームは荻窪病院T・ナース

特定行為研修を受けた看護師が

これからの医療を支えます

院内で、緑色のユニフォームを着用している看護師を見かけたことはありませんか？

当院には、厚生労働省指定の専門的な研修を受け、高度な知識・技能を身につけた5名の**特定行為看護師**が病棟や外来で活動しています。当院ではT・ナースと呼んでいます。医師の指示を待たずに手順書に基づき、診療を安全

に補助することで、患者さんの症状にあわせた特定の行為をタイムリーに処置できるため、患者さんの病状の悪化を防ぎ、早期の苦痛軽減につながります。

当院のT・ナースに話を聞きました

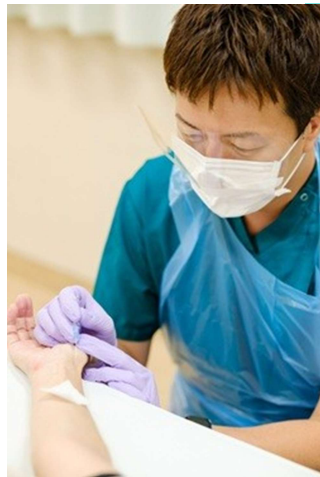
今回は、迅速にチーム医療を推進するT・ナースのみなさんに話を聞きました。



第一期生のT・ナース（2024年10月から活動開始）

特定行為看護師とは

医師の指示や手順書に従い、一定の診療補助業務（特定行為）を実施できる看護師です。特定行為研修を修了することで、21区分38の特定行為を行うことができます。



早期の介入が病状悪化を防ぐ

——T・ナースの活動はどのようなメリットにつながりますか？

医師は限られた人数しかいません。診療を待っている患者さんのために、知識を習得したT・ナースが早期からスムーズに処置やケアを行うことができます。実際にあった例を紹介します。

年末の医師が少ない時期に、自宅で倒れていた一人暮らしの高齢者が救急車で運ばれてきました。この方はインフルエンザ陽性でしたが、褥瘡（床ずれ）

れ）が複数箇所見つかったので、手順書に基づき入院した翌日からT・ナースが介入しました。入院後は、体を拭くタイミングで傷を確認したり、症状にあわせて軟膏を塗ったりと、こまめにケアし、傷からの感染もなく回復を早めることにつながりました。

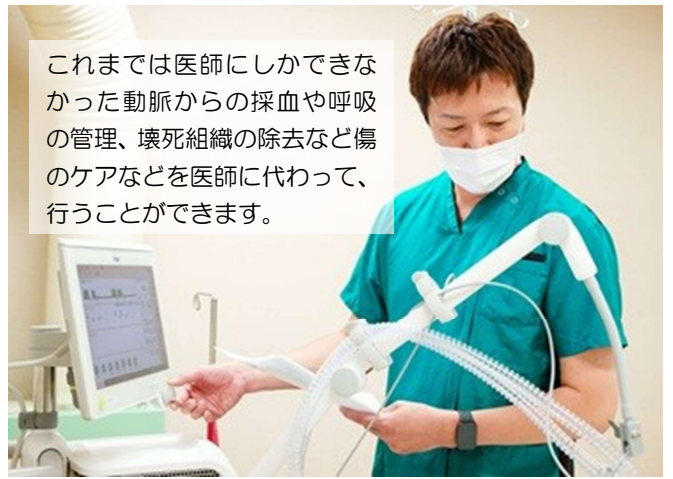
このように、T・ナースは担当医師がいなくても、患者さんの症状にあわせて適切なケアを、より良いタイミングで行うことができます。

基本方針

1. 急性期医療に全力で取り組み、地域社会に貢献します。
2. 個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた患者さん中心の医療を提供します。
3. 豊かな人間性と優れた技能を有する医療人の育成に努め、活力のある病院づくりをします。
4. 経営の健全化に努め、質の高い医療を地域に提供し続けます。

理念

患者さんへ 安心して信頼される医療を提供します。
職員へ やり甲斐のある仕事と豊かな生活の場を提供します。



これまでは医師にしかできなかった動脈からの採血や呼吸の管理、壊死組織の除去など傷のケアなどを医師に代わって、行うことができます。

患者さんを待たせない

安全な医療を、仲間と共に

——T・ナースになるまでに苦労はありましたか？

約10カ月間、病棟所属の看護師として働きながら300時間以上の講義、それに加え実習を行いました。決して簡単な道ではなく、思い返したくないほどですが、無事に修了できたのは身体を預けてくださっている患者さんはもちろん、指導医師やスタッフのおかげです。みなさまからの信頼を裏切らないよう、日々精進していきたいです。

——これからの展望を教えてください

患者さんの症状悪化を防ぎ、苦痛の軽減につなげることができると、ナースをもっと増やすことです！

厚生労働省は25年までに看護師の10%近くの10万人を目指していると言っていますがまだ目標に達していません。当院もまずは看護師総数の約10%、25名を目指したいと思っています。

正直、実際にやってみるとこんなに大変とは思っていませんでしたが、「ピンチの時に役に立っている存在」として、荻窪病院の医療の質向上につなげていきたいです！

細川香代子看護部長から

25年4月には、新たに4名のT・ナースが加わり9名になります。医師の指示や到着を待たずに手順書に従って場面に応じた迅速な処置を行うこと、研修で学んだ医学的な知識をもつて患者さんやご家族の立場に立った分かりやすい説明と安全なケアを実践すること等、T・ナースの役割は多岐にわたります。ますます複雑化する医療現場において、チーム医療のキーパーソンとしての活躍に期待します。

Ogikubo Hospital Topics

産後ケアの利用内容が変りました

杉並区・練馬区にお住まいで当院にて出産された方は、退院せずそのまま宿泊型の産後ケアをご利用いただけます。

25年1月より、当院を一度退院された場合および、他院で出産された場合でも、産後2カ月までに限り、ご利用が可能になりました。

事前に利用申請が必要ですので、杉並区または練馬区のホームページをご覧ください。

◆産後ケアとは

産後、助産師などの専門スタッフによるケアで、母親と赤ちゃんの健康状態の確認、乳房ケア、母乳やミルクのあげ方についてのアドバイス、もく浴の練習、育児相談などを受けられます。

消防署救急隊との密な連携で地域医療に貢献します

荻窪消防署をはじめとした近隣消防署の救急隊と連携を深め、協力体制を強化するために、当院が24年度に取り組んだ活動を報告いたします。

◆救急車同乗研修

当院の救急科を中心としたスタッフ33名が、出動を要請された救急車に同乗し、救急隊の活動や患者さんへの対応を学びました。また、出動の訓練や出動前の点検業務にも参加しました。

◆救急隊の病院実習の受け入れ

7名の救急隊のみなさんに対して、救急患者さんの受け入れや応急処置、他病院への転院などの実習を当院の救急外来にて行ないました。

◆荻窪消防署との意見交換会

救急車で搬送された患者さんが当院にてどのように処置・診断されたのか、循環器内科医師が症例を発表しました。消防署からの要望によって毎年内容を検討し、より実りのある会を目指しています。

これからも、顔の見える関係作りに取り組み、救急医療に貢献してまいります。

